

厚生労働科学研究費補助金
(難治性疾患等政策研究事業) 分担研究報告書

循環器難病に随伴する後天性フォンウィルブランド症候群の診断基準・重症度分類の確立

研究分担者 海北幸一 熊本大学循環器内科学 准教授

研究要旨

後天性フォンウィルブランド症候群を体系的に評価し、その実態を解明し、その診断基準・重症度分類を確立することを目的とする本研究において、分担研究施設として上記症候群に該当する疾患の血液サンプルを採取し、症例の収集に寄与した。

A. 研究の目的

後天性フォンウィルブランド症候群を体系的に評価し、その実態を解明し、その診断基準・重症度分類を確立することを目的とする。

B. 研究方法

当施設では、高度大動脈弁狭窄症の患者を中心に術前、術後1日、2日に血液サンプルを採取し、中心施設である東北大学に郵送した。

(倫理面への配慮)

全参加患者に口頭及び文書で説明し、文書による同意書をいただき、ヘルシンキ宣言に則り施行する。

C. 研究成果

現時点で3例登録し、15検体を送付した。郵送した血液サンプルについては東北大学にて集中解析を依頼した。後天性フォンウィルブランド症候群を診断するための解析法、フォンウィルブランド因子(VWF)多量体解析を標準化し、定量法を構築した。

D. 考察

今後上記症例を集積することにより、後天性フォンウィルブランド症候群の病態解明が進み、至適抗血栓療法が展開できるものと考えられる。

E. 結論

本研究で後天性フォンウィルブランド症候群合併時の適切な対処法を明らかにし、難病治療を向上させることが可能になる。

F. 健康危険情報

総括研究報告書に記載。

G. 研究発表

1. 論文発表
分担者としては無し。
2. 学会発表
分担者としては無し。

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
無し。
2. 実用新案登録
無し。
3. その他
特記すべきこと無し。